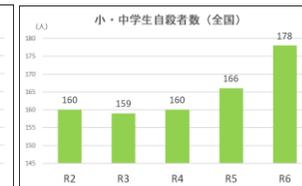
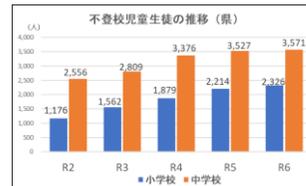


令和8年度「ぎふ、いのちの教育」の全体像 <義務教育関係>

西濃教育事務所

- ▼ 不登校児童生徒の増加が続き、若年層の引きこもりや自殺者の増加が社会問題化
- ▼ 不安定な社会を背景に、夢や希望がもちづらいなど、将来や生きることへの不安が増長
- ◎ 児童生徒の発達の段階に応じて、自他の生命の大切さやかけがえのない生命についての自覚を深める教育を、家庭や地域、関係機関と連携・協働して行っていく中で、一人一人によりよく生きようとする意欲や態度を育むことが必要



「幼・小・中・義・高・特別支援学校」 生きる喜びにふれる / 生命の尊さを感じる / かけがえのない生命について考える / よりよく生きることを求める

健康教育	いじめ防止・不登校支援の教育	自殺予防教育	心の教育
●健康と命の大切さ、命の誕生、性に関する理解	●温かい人間関係づくり、居場所と絆づくり	●SOSの出し方教育、性被害から守る予防教育	●生命尊重、生きる喜びを実感する体験活動
「体育・保健体育」 ・思春期にあらわれる変化<小4年> ・薬物乱用の害と健康<小6年> ・生殖機能の成熟<中1年> ・異性の尊重と性情報への対処<中1年義7年> ・薬物乱用の害(依存症)と健康<中2年義8年> ・災害時対応、心肺蘇生<中2義8年> 「技術・家庭科」 ・幼児の発達と生活、家族<中3年義9年> 「特別活動(学校行事、学級活動)」 ・心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成<小中義> ・男女相互の理解と協力<小中義>、性的な発達への対応<中義> ・防災教育<小中義> ・医療等の専門家と共に考えるかけがえのない生命とよりよく生きること<小中義>	「温かい人間関係づくり」 ・協働的な学びによる学習内容の確実な定着 ・児童/生徒会活動を通じた集会活動、異学年、校種間等の交流 ・見守り活動等地域と連携した活動 「心の居場所づくり」 ・あったかい言葉かけ県民運動を活かしたいじめの未然防止のための居場所づくり・絆づくり ・家族や地域とのふれあいを通じた絆づくり 「教育相談等のサポート体制づくり」 ・SC、S相やSSW等を活かす相談体制の整備 ・校内教育支援センターの設置推進(ガイドブックや事例集の活用) ・校外教育支援センターやフリースクール等との連携による学習保障	「SOSの出し方・受け止め方に関する教育」 ・SOSの出し方に関する教育のガイドブックの活用推進及びSC等を活用した「SOSの出し方に関する教育」の実施(ロールプレイ、小中学生用啓発教材、自殺予防啓発動画の活用等) ・24時間相談電話窓口やICTを活用した相談窓口などの周知 「性被害から守る予防教育」 ・「セーフティファイブとプライベートゾーン」教育 ・心と身体を守る「くもくん教室」(県警) ・「生命(いのち)の安全教育」教材の活用 「教員・保護者研修」 ・性被害、児童虐待等の防止(県警との連携) ・司法面接と初期対応の研修/DVD ・児童虐待等の認知時における初期対応	「道徳教育・人権教育」 ・外部講師の参画、体験活動や討議等を取り入れた教育活動の工夫、道徳科の授業改善 ・全教育活動を通じた人権教育の推進 「体育・保健体育」 ・心と体のつながりを考える<小5年> ・心の発達、欲求と心の健康<中1年義7年> 「特別活動(学校行事、学級活動)」 ・芸術文化活動を通じた情操の涵養 ・多様な人の生き方から学ぶ「キャリア教育」 「総合的な学習の時間」 ・かけがえのない存在としての自分への気付きと自尊心の醸成<小中義> ・地域の方から学ぶ「ふるさと教育」

「西濃教育事務所の主な取組」

■魅力ある学校づくりとしての授業改善

- ・事前相談を含む要請訪問を充実させ、「個別最適化学び」と「協働的な学び」が往還し、ICTが効果的に活用される「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実現を目指す。
- ・「考えを広げ深める対話活動」に重点を置き、指導の方途等について、各種訪問、研修会等で助言する。また、教科等の指導を、生徒指導の実践上の視点(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)から価値付け、方向付けする。
- ・管理職部会において、「ぎふ、いのちの教育」について啓発を図り、取組を確認する。

■魅力ある学校づくりにつなげる研修実施

- ・経年研修(初任者研修を含む)や職域研修、教育課程研究協議会等において、「健康教育」「いじめ防止・不登校支援」「自殺予防教育」「心の教育」の視点を踏まえた指導計画・教材等の整備、授業改善の推進を図る。

■「いのちの授業」「がん教育」の発信

- ・実践校の取組を西濃管内の小・中・義務教育学校へ広げる。
- ※西濃教育事務所 HP 掲載

■市町(組合)教育委員会との連携

- ・西濃地区教育長会や市町(組合)教育委員会の担当者との連絡会で、「ぎふ、いのちの教育」に関わる実践、「SOSの出し方教育(SC活用)」 「夢や目標を語る取組」「あったかい言葉かけ運動」等の好事例を紹介する。
- ※西濃教育事務所 HP 掲載
- ・いじめ対策連絡会議等で、未然防止・早期発見・早期対応、不登校対応の取組状況を交流する。

■学校職員課訪問

- ・学校職員課訪問において、管理職・生徒指導主事から取組状況の報告を受け、「ぎふ、いのちの教育」の視点から価値付けや助言を行う。

■生徒指導訪問・研修実施

- ・生徒指導訪問、生徒指導連携強化委員会、学校警察連携協議会、主幹教諭連絡協議会、特別支援教育連携協議会等の会議において、学校と関係機関が連携し、安全指導、居場所と絆づくり、誰一人取り残さない指導への意識を高める。

「ぎふ、いのちの教育」義務教育会議 (所管:教育総務課 メンバー:関係各課(教育主管等)、教育事務所(教育支援課) 開催:年3回程度、取組の進捗と情報共有等 ※講義の場合、オンラインにて各市町村教育委員会、各学校管理職は視聴可)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			義務教育会議①(6/15)			義務教育会議②(10/16)			義務教育会議③(12/18)			
「ぎふ、いのちの教育」ホームページの充実(教材・指導計画の提供、外部人材の紹介、研修会・講演会等の情報交流、先行事例や好事例の収集と共有)												
<1> 学校訪問による指導・助言				<2> 所管する会議等で啓発・事例紹介				<3> 地区教育長会、都市・町村教育長会等で効果的な実践の交流				

